

農地・農業用施設情報項目

・ため池定期点検	1
・貯水池	2
・頭首工	3
・水路	5
・土地改良区	8
・基盤整備事業区域	9
・農道	10
・農地・水・環境保全—活動組織区域	11
・ストックマネジメント【調査・施設診断】	12
・ストックマネジメント【工事・属性情報変更】	14
・地すべり(ポリゴン2) 地すべり防止区域	16
・地すべり(ポリゴン2) 水抜きボーリング工、集水ボーリング工、法面安定工など	16
・地すべり(ライン2) 杭打ち工、土留工、水路工、排水ボーリング工	18
・地すべり(ポイント3) 調査ボーリング	19
・地すべり(ポイント3) 標柱、地すべり防止区域表示看板、集水井戸工、アンカー工など	19

ため池定期点検

H28.4.1

情報項目	入力例	型	長さ	少数桁	注意点
SID	356971				システムが自動採番
MANAGECODE(管理番号)	6525	文字列	25		1施設、1番号 検索に利用すると便利
特定ため池台帳番号		文字列	254		
期別(巡目)	1	文字列	254		
「特定外ため池」か否かの区分	特定外ため池	文字列	254		特定外ため池の場合、「特定外ため池」と入力。特定ため池の場合は空
調査年度	平成25年度	文字列	254		
登録年度(予算上の)	平成26年度	文字列	254		水土里情報システムに登録した年度
健全度総合評価	要保全計画作成	文字列	254		
保全計画書添付の有無	有	文字列	254		保全計画書を関連ファイルとして添付した場合は「有」と入力
県民局名	丹波	文字列	254		
関係市町名	〇〇市	文字列	254		
ため池名	〇〇池	文字列	254		
ふりがな	〇〇いけ	文字列	254		
所在地		文字列	254		
管理者組織名		文字列	254		
管理代表者氏名		文字列	254		
管理代表者住所		文字列	254		
管理代表者電話番号		文字列	254		
受益面積 (ha)		数値	16	6	
点検者氏名		文字列	254		
専門技術者の意見		文字列	4000		
堤高(m)		数値	16	6	
堤長(m)		数値	16	6	
貯水量(m3)		数値	16	6	
点検年月日	2016/4/1	日付			
点検時貯水位		文字列	254	6	
漏水評価 S-		数値	16	6	
浸食率評価 S-		数値	16	6	
前法 陥没・穴の評価 S-		数値	16	6	
後法部評価 S-		数値	16	6	
堤頂 陥没・穴の評価 S-		数値	16	6	
堤頂 ひび割れの評価 S-		数値	16	6	
余裕高評価 S-		数値	16	6	
洪水吐 Co・石積箇所の評価 S-		数値	16	6	
洪水吐 障害物の評価 S-		数値	16	6	
洪水吐能力の評価 S-		数値	16	6	
取水施設の評価 S-		数値	16	6	
漏水量(l/s/100m)		文字列	254		
前法構造		文字列	254		
前法浸食率		文字列	254		
余裕高(m)		文字列	254		
現況の洪水吐能力(m3/s)		文字列	254		
安全柵の有無		文字列	254		
禁止看板の有無		文字列	254		
予備1		文字列	254		
予備2		文字列	254		
予備3		文字列	254		
予備4		文字列	254		
予備5		文字列	254		

情報項目	入力内容	入力例	注意点
------	------	-----	-----

【水利施設共通】

局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
地区名	次郎池	次郎池	施設名称を全角50文字以内で入力。
施設管理者コード			関係者コードから入力
施設管理者名称			全角50文字以内で入力。
事業主体コード			関係者コードから入力
事業主体名称			全角50文字以内で入力。
所有者			関係者コードから入力
所有者名称			全角50文字以内で入力。
予備項目1			ため池実態把握の調査票の調査番号
予備項目4			コメント
予備項目5			防災ため池台帳の調査番号及び昭和44年調査番号

【基礎的情報】

貯水池区分	ため池	003	000:不明、001:ダム、002:調整池、003:ため池、999:その他、から入力
作成日			最初に作成した年月日を西暦で入力。YYYY/MM/DD
更新日			更新した年月日を西暦で入力。YYYY/MM/DD
局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード	南あわじ市	224	ため池の所在市町と受益地市町が異なる場合、受益地の市町を記載。
国県区分コード	不明	0	施設造成時の事業主体を 0:不明、1:国、2:県、3:市町、4:土地改良区、9:その他、から入力
工区名			施設造成時の事業、工区名
施設区分	ため池	002	000:不明、001:ダム、002:ため池、999:その他、から入力
施設名	次郎池	次郎池	施設名称を全角25文字以内で入力。
所在地	南あわじ市八木寺内	南あわじ市八木寺内	ため池の所在地を全角50文字以内で入力。
合計面積	70	70	受益面積を記入。重ね池の場合、重ね池全体の受益面積。単位:ha。小数点2桁まで入力
設計洪水流量			小数点3桁まで入力。単位:m ³ /s
堤体全高	9.4	9.4	小数点3桁まで入力。単位:m
堤頂長	200	200	小数点3桁まで入力。単位:m
堤頂幅	4.4	4.4	小数点3桁まで入力。単位:m
流域面積			直接流域の面積を入力。単位:km ² 。小数点1桁まで入力
満水時面積			満水時の面積を入力。単位:ha。小数点1桁まで入力
総貯水量	190	190	小数点以下四捨五入整数 単位:千m ³
斜樋の有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力
底樋の有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力
予備項目1	1:2.0	1:2.0	(上流斜面勾配) 堤体上流側(池内側)斜面勾配を記入
予備項目2	1:1.5	1:1.5	(下流斜面勾配) 堤体下流側斜面勾配を記入
予備項目3	越流堰(幅5.5×高2.1)	越流堰(幅5.5×高2.1)	(洪水吐形式) 越流堰、水路流入、側水路式などの形式を記入
予備項目4			(被害想定) 被害が想定される人家戸数、農地面積を記入
予備項目5			(警戒ため池) 警戒ため池に指定されている場合「警戒ため池」と記入
予備項目6			(被害履歴) 年度と被害規模を記入
予備項目7			(改修履歴) 年度と改修箇所を記入
予備項目8			管理者氏名を記入 ○○水利組合や個人など
予備項目9			管理者住所を記入
予備項目10			管理者連絡先を記入 氏名、電話番号など

情報項目	入力内容	入力例	注意点
------	------	-----	-----

【水利施設共通】

地区名	蟹ヶ草井堰	蟹ヶ草井堰	施設名称を全角50文字以内で入力。
河川区分コード	一級指定	002	000:不明、001:1級直轄、002:1級指定、003:2級河川、004:準用河川、005:普通河川、006その他河川、999その他、から入力
河川管理区分コード	都道府県	002	河川管理者を 000:不明、001:国、002:県、003:市町、999その他から入力
水系区分コード	加古川	0605	1級水系の区分を 0605:加古川、0606:揖保川、0609:由良川、0610:円山川から入力
河川名	柏原川	柏原川	当該施設が有する水利権の該当河川名称を入力。
用排水区分コード	自然取水	001	当該施設の用排水区分を 000:不明、001:自然取水、002:機械取水から選択
施設管理者コード	集落又は申合組合(水利組合)	008	関係者コードから入力
施設管理者名称	南多田自治会	南多田自治会	全角50文字以内で入力。
事業主体コード	不明	000	関係者コードから入力
事業主体名称			全角50文字以内で入力。
所有者	集落又は申合組合(水利組合)	008	関係者コードから入力
所有者名称	南多田自治会	南多田自治会	全角50文字以内で入力。

【基礎的情報】

頭首工形式	可動堰	001	000:不明、001:可動堰、002:固定堰、003:複合型、999:その他、より入力
作成日	2005/7/12	2005/7/12	最初に作成した年月日を西暦で入力。YYYY/MM/DD
更新日			更新した年月日を西暦で入力。YYYY/MM/DD
局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード	丹波市	223	市町コードを入力
工区名			施設造成時の事業、工区名
施設区分コード	頭首工	006	006(頭首工)を入力
施設名	蟹ヶ草井堰	蟹ヶ草井堰	全角25文字以内で入力。
所在地	丹波市柏原町	丹波市柏原町	県名以降表示地番まで入力。
施設管理者	集落又は申合組合(水利組合)	008	関係者コードから入力
事業費			千円単位で入力
造成年度	2000年	2000	西暦で入力する。(YYYY)。施設機能の主要部分を更新した年度を記入。
水田面積			受益面積をha単位で入力。小数点以下2位まで。
畑面積			受益面積をha単位で入力。小数点以下2位まで。
樹園地面積			受益面積をha単位で入力。小数点以下2位まで。
その他面積			受益面積をha単位で入力。小数点以下2位まで。
合計面積	3ha	3	受益面積をha単位で入力。小数点以下2位まで。
面積算定年度	2005年	2005	西暦で入力。(YYYY)
算定根拠コード	不明	000	000:不明、001:図面、002:賦課台帳、003:課税台帳、004:水利権調書、999:その他、から入力
水利権の有無	該当あり	002	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力(水利権にリンクする)
排水の有無	不明	000	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力(排水にリンクする)
総取水量	0.021	0.021	単位:「m ³ /s」 小数点以下3位まで。
基準標高区分	不明	000	000:不明、001:TP(東京湾中等潮位)から選択
堰堤頂標高(m)			単位:「m」 小数点以下3位まで。
堰敷高標高(m)			単位:「m」 小数点以下3位まで。
基礎形式	直接基礎(べた基礎)	004	000:不明、004:直接基礎(べた基礎)、008:支持杭、999:その他、より入力
基礎寸法ΦorB(mm)			単位:「mm」
基礎寸法L(mm)			単位:「mm」
堰長固定部(mm)			単位:「mm」
堰長可動部(mm)	14500	14500	単位:「mm」
堰長合計(mm)	14500	14500	単位:「mm」
堰頂幅(mm)	1300	1300	単位:「mm」
堰頂敷幅(mm)	3100	3100	単位:「mm」
堰高(mm)	1300	1300	単位:「mm」
ゲートの有無	該当あり	002	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力(ゲートにリンクする)
水叩工の有無	不明	水叩工の有無	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力(水叩にリンクする)
護床工の有無	該当あり	002	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力(護床工にリンクする)
護岸工の有無	該当あり	002	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力(護岸工にリンクする)
除塵機の有無	不明	除塵機の有無	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力
魚道の有無	該当あり	002	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力(魚道にリンクする)
閘門の有無	不明	閘門の有無	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力
舟通の有無	該当なし	舟通の有無	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力
管理橋の有無	不明	管理橋の有無	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力
建屋の有無	不明	建屋の有無	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力
電力の有無	不明	電力の有無	000:不明、001:該当なし、002:該当あり、より入力

情報項目	入力内容	入力例	注意点
修理記録1			全角25文字以内で入力
修理記録2			全角25文字以内で入力
修理記録3			全角25文字以内で入力
修理記録4			全角25文字以内で入力
修理記録5			全角25文字以内で入力
予備項目1			
予備項目2			
予備項目3			
予備項目4			
予備項目5			
予備項目6			
予備項目7			
予備項目8			
予備項目9			
予備項目10	施設番号11200-01	施設番号11200-01	事務所保管の当該井堰の台帳番号を入力
更新年月日			

情報項目	入力内容	入力内容	注意点
------	------	------	-----

【水路共通】

地区名			地区名を入力
工区名			施設造成時の事業、工区名
用排水区分			用排水区分コードから入力
施設区分			000:不明、008:用水路、009:排水路、999その他 から入力
水路区分			水路区分コードから入力
水路施設名称			当該施設の水路名称を入力
施設管理者			関係者コードから入力
施設管理者名称			施設管理者名称を全角50文字以内で入力
事業主体			建設した事業主体を関係者コードから入力
事業主体名称			事業主体名称を全角50文字以内で入力
所有者			所有者を関係者コードから入力
所有者名称			所有者名称を全角50文字以内で入力
事業費			当該施設の建設費を千円単位で入力
完成年度			完成年度を入力 YYYY

【開水路】

局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード			市町コードを入力
施設名称			当該施設の水路名称を入力
基礎形式			基礎形式コードから入力
開水路延長			開水路の延長を入力 単位:m
始点			当該施設の始点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
終点			当該施設の終点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
低水敷水路構造			水路構造区分コードから入力
低水敷寸法(上幅)			流水方向に向かって、低水敷の幅を記入 単位:mm
低水敷寸法(下幅)			流水方向に向かって、低水敷の幅を記入 単位:mm
低水敷寸法(高さ)			流水方向に向かって、低水敷の高さを記入 単位:mm
低水敷法勾配(左)			流水方向に向かって、左岸低水敷の法勾配を記入 例:1:1.50←1.50のみ記入
低水敷法勾配(右)			流水方向に向かって、右岸低水敷の法勾配を記入 例:1:1.50←1.50のみ記入
高水敷水路構造			水路構造区分コードから入力
高水敷寸法(左幅)			流水方向に向かって左岸幅を記入。単位mm
高水敷法勾配(左)			流水方向に向かって左岸高水敷の法勾配を記入 例:1:1.50←1.50のみ記入
高水敷寸法(右幅)			複断面の場合、流水方向に向かって右岸高水敷幅を記入。単位mm
高水敷法勾配(右)			流水方向に向かって右岸高水敷の法勾配を記入 例:1:1.50←1.50のみ記入
高水敷寸法(高さ)			流水方向に向かって低水敷上面から高水敷までの高さを記入 記入単位:mm
設計流量			設計流量を記入 単位:m ³ /s
ゲートの有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
除塵機の有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
修理記録1			修理記録を入力する。
修理記録2			"
修理記録3			"
修理記録4			"
修理記録5			"

【管水路】

局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード			市町コードを入力
施設名称			当該施設の名称を入力
始点			当該施設の始点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
終点			当該施設の終点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
出来形延長			単位:mとし、少数2位止め 施工、出来形延長より入力
口径			単位:mm
管種			官種コードより入力 3桁 前ゼロ埋めとする
基礎形式			基礎形式コードより入力 3桁 前ゼロ埋めとする
設計流量			設計流量を記入 単位:m ³ /s
ゲートの有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
バルブの有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
修理記録1			修理記録を入力する。
修理記録2			"
修理記録3			"

情報項目	入力内容	入力内容	注意点
修理記録4			〃
修理記録5			〃

【水路トンネル】

局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード			市町コードを入力
施設名称			当該施設の名称を入力
水路トンネル延長			水路トンネルの延長を入力 単位:m
始点			当該施設の始点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
終点			当該施設の終点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
トンネル構造			水路構造区分コードから入力
断面寸法(B)			トンネル断面の最大幅を入力 単位:mm
断面寸法(H)			トンネル断面の高さを入力 単位:mm
断面寸法(B')			トンネル断面のインバート部の幅を入力 単位:mm
断面寸法(RまたはD)			馬蹄形の場合は半径Rを、円形の場合は直径Dを入力 単位:mm
設計流量			設計流量を記入 単位:m ³ /s
ゲートの有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
除塵機の有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
電力の有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
修理記録1			修理記録を入力する。
修理記録2			〃
修理記録3			〃
修理記録4			〃
修理記録5			〃

【暗渠工】

局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード			市町コードを入力
施設名称			当該施設の名称を入力
始点			当該施設の始点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
終点			当該施設の終点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
上流樹材質			材質区分コードから入力
上流樹寸法(A)			施設の寸法を入力 単位:mm
上流樹寸法(B)			施設の寸法を入力 単位:mm
上流樹寸法(H)			施設の寸法を入力 単位:mm
下流樹材質			材質区分コードから入力
下流樹寸法(A)			施設の寸法を入力 単位:mm
下流樹寸法(B)			施設の寸法を入力 単位:mm
下流樹寸法(H)			施設の寸法を入力 単位:mm
暗渠工構造			水路構造区分コードから入力
口径			当該口径による。 単位:mm
寸法(L)			上下流部の桁(または土留め壁)を除いた延長を入力する。 単位:mm
全延長(ΣL)			上下流部の桁(または土留め壁)を含めた延長を入力する。 単位:mm
基礎形式			基礎形式コードから入力
基礎寸法(φ or B)			直接基礎の場合は基礎幅、杭基礎の場合は口径を入力 単位:mm
基礎寸法(H or L)			直接基礎の場合は基礎厚、杭基礎の場合は長さを入力 単位:mm
設計流量			設計流量を記入 単位:m ³ /s
ゲートの有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
除塵機の有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
修理記録1			修理記録を入力する。
修理記録2			〃
修理記録3			〃
修理記録4			〃
修理記録5			〃

【水路橋】

局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード			市町コードを入力
施設名称			当該施設の名称を入力
水路橋形式			水路橋コードから入力
始点			当該施設の始点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
終点			当該施設の終点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
出来形延長			単位:m 小数2位止め
内空B			単位:mm 内空幅を入力する

情報項目	入力内容	入力内容	注意点
内空高 H			単位:mm 内空高を入力する
施工年度			施工年度を入力 YYYYY
設計流量			設計流量を記入 単位:m ³ /s
ゲートの有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
除塵機の有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
修理記録1			修理記録を入力する。
修理記録2			〃
修理記録3			〃
修理記録4			〃
修理記録5			〃

【水管橋】

局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード			市町村コードを入力
施設名称			当該施設の名称を入力
水管橋形式			水管橋コードから入力
始点			当該施設の始点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
終点			当該施設の終点の測点を入力(No.〇〇+〇〇)
出来形延長			単位:m 小数2位止め
口径			単位:mm
管種			管種コードから入力
施工年度			施工年度を入力 YYYYY
設計流量			設計流量を記入 単位:m ³ /s
ゲートの有無			000:不明、001:該当なし、002:該当あり、から入力
修理記録1			修理記録を入力する。
修理記録2			〃
修理記録3			〃
修理記録4			〃
修理記録5			〃

土地改良区域

H25.1.7

情報項目	入力内容	入力例	注意点
局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード	篠山市	221	土地改良区の主たる事務所を市町コードから入力
土地改良区名称	吹	吹	土地改良区の名称を入力
地区面積	150	150	整数を入力 1ha未満は四捨五入 単位:ha
代表住所	篠山市網掛429	篠山市網掛429	事務所の所在地 事務所を市町村役場や2以上の土地改良区が共同して設置している事務所に置いている場合等については、事務所所在地の後に()書きで、例えば(〇〇市役所内)、(〇〇市土地改良合同事務所内)のように入力
関係市町村	篠山市	篠山市	当該土地改良区又は同連合の受益地が属するすべての市町名を入力
代表電話	795521180	795521180	当該土地改良区の主たる事務所の代表電話番号を連続して入力
組合員数	250	250	組合員数を入力
理事長名	溝端 肇	溝端 肇	理事長名を入力
設立年月日	1952/02/22	1952/02/22	西暦で入力。YYYY/MM/DD
設立態様コード	普通水利組合から組織変更	004	001:新設、002:新設合併、003:耕地整理組合から組織変更、004:普通水利組合から組織変更、から入力
事業概要	(区)管(用排)	(区)管(用排)	当該土地改良区に関連する事業の概要。詳細は、「土地改良区設立状況等調査について」様式第1号記載要領参照のこと
予備項目1	理事定数	7	理事定数を入力
予備項目2	監事定数	3	監事定数を入力
予備項目3	総代数	-	総代数を入力。無い場合は「-」を入力
予備項目4	関係土地改良区		重複・重複関係にある土地改良区の名称を入力。なお、制限文字数(全角25字)の関係で、例えば「〇〇、△△、□□ほか2改良区」と入力
予備項目5	解散の有無		解散すれば、この欄に「解散」と記載し、()書きで解散認可日(西暦)を入力
更新年月日			

情報項目	入力内容	入力例	注意点
局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード	稲美町	381	市町コードから入力
事業主体コード	県(農)	004	関係者コードから入力
事業地区名	稲美	稲美	事業地区名を入力
受益面積	448	448	整数で入力 1ha未満は四捨五入 単位:ha ほ場整備面積調査(様式1-a)の全体の田と畑の受益面積を合計
受益面積(水田)	440	440	整数で入力 1ha未満は四捨五入 単位:ha ほ場整備面積調査(様式1-a)の全体の田の受益面積
受益面積(普通畑)	8	8	整数で入力 1ha未満は四捨五入 単位:ha ほ場整備面積調査(様式1-a)の全体の畑の受益面積
総事業費	5,904,000	5904000	ほ場整備面積調査(様式1-a)の全体の事業費を入力 単位:千円
事業開始年度	1981	1981	ほ場整備面積調査(様式1-a)の着手年度を西暦で入力(YYYY)
事業完了年度	1997	1997	ほ場整備面積調査(様式1-a)の完了年度を西暦で入力(YYYY)
事業進捗フラグコード	完了地区	001	001:完了地区、002:継続地区を入力
予備項目1	関係土地改良区	稲美土地改良区	関係土地改良区名を入力
予備項目2	現在の水田面積	434.9	少数点1桁で入力 単位:ha ほ場整備面積調査(様式1-b)の整備済のうち現在農振農用区域内の農地面積の田の面積
予備項目3	現在の畑面積	8.0	少数点1桁で入力 単位:ha ほ場整備面積調査(様式1-b)の整備済のうち現在農振農用区域内の農地面積の畑の面積
予備項目4	備考、転用理由		道路の新設など、大きな転用の理由を入力
予備項目5	関連土地改良事業	国営東播用水事業	関連土地改良事業名を入力
予備項目6	工事完了日	H10.3.31	工事完了日を入力。複数の場合は/で区切り、半角50文字以内
予備項目7	工事完了日	H10.3.31	上記欄に入りきらない場合、続きを入力
予備項目8	換地処分公告日	H7.3.28	換地処分公告日を入力。複数の場合は/で区切り、半角50文字以内
予備項目9	換地処分公告日	H7.3.28	上記欄に入りきらない場合、続きを入力
予備項目10	事業名	県営ほ場整備事業	ほ場整備面積調査(様式1-a)の事業名を入力
更新年月日			

農道

H25.1.7

情報項目	入力内容	入力例	注意点
局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード	丹波市	223	市町コードから入力
枝番(農道)	1路線	1	基本は1と入力。地区内に複数の路線がある場合、絵柄に合わせて路線を1から連番で入力。
道路区分コード	農道	001	001:農道、004:県道、005:1級市町道、006:2級市町道、007:その他市町道、から入力
事業実施主体コード	市町	006	関係者コードから入力
管理者コード	市町	006	関係者コードから入力
台帳作成年月日			西暦で入力(YYYY/MM/DD)
起点地点名			起点地名を入力
起点路線名			起点で接続する路線名を入力
終点地点名			終点地名を入力
終点路線名			終点で接続する路線名を入力
全幅員(代表)			路線内で幅員が変化する場合は代表的な幅員を入力する。単位:m
有効幅員(代表)	4	4	路線内で有効幅員が変化する場合は代表的な幅員を入力する。単位:m
舗装区分コード	砂利	004	001:コンクリート、003:簡易アスファルト、004:砂利、000:不明、から入力
施工年度	1968	1968	完成年度を西暦で入力(YYYY)
工事完了告示年月日			西暦で入力(YYYY/MM/DD)
元資料コード	その他	999	002:農道台帳、999:その他、000:不明、から入力
元資料名	完了地区台帳	完了地区台帳	元資料の名称及び入手年月日、入手機関等を入力
総延長	877	877	単位:m
As舗装延長(全幅5.5m以上)			As舗装区間の延長(全幅5.5m以上)を入力 単位:m
Co舗装延長(全幅5.5m以上)			Co舗装区間の延長(全幅5.5m以上)を入力 単位:m
砂利舗装延長(全幅5.5m以上)			砂利舗装区間の延長(全幅5.5m以上)を入力 単位:m
農道舗装面積(全幅5.5m以上)			砂利舗装区間の延長(全幅5.5m以上)を入力 単位:m
As舗装延長(全幅4.0m以上)			As舗装区間の延長(全幅4.0m以上)を入力 単位:m
Co舗装延長(全幅4.0m以上)			Co舗装区間の延長(全幅4.0m以上)を入力 単位:m
砂利舗装延長(全幅4.0m以上)	877	877	砂利舗装区間の延長(全幅4.0m以上)を入力 単位:m
農道舗装面積(全幅4.0m以上)			砂利舗装区間の延長(全幅4.0m以上)を入力 単位:m
As舗装延長(全幅1.8m以上)			As舗装区間の延長(全幅1.8m以上)を入力 単位:m
Co舗装延長(全幅1.8m以上)			Co舗装区間の延長(全幅1.8m以上)を入力 単位:m
砂利舗装延長(全幅1.8m以上)			砂利舗装区間の延長(全幅1.8m以上)を入力 単位:m
農道舗装面積(全幅1.8m以上)			砂利舗装区間の延長(全幅1.8m以上)を入力 単位:m
農道敷所有者(国有_法定外含む)			農道敷を国が有している区間の延長を入力。所有者混在の場合は占有率の高い方とする。単位:m
農道敷所有者(都道府県有)			農道敷を県が有している区間の延長を入力。所有者混在の場合は占有率の高い方とする。単位:m
農道敷所有者(市町村有)			農道敷を市町が有している区間の延長を入力。所有者混在の場合は占有率の高い方とする。単位:m
農道敷所有者(その他)			農道敷を土地改良区、集落等が有している区間の延長を入力。所有者混在の場合は占有率の高い方とする。単位:m
事業区分			事業名を入力。
地区名	東芦田	東芦田	事業実施時の地区名を入力
事業実施主体	市町	006	関係者コードから入力
工種	新設	001	001:新設、002:改良、003新設・改良、004:舗装から入力
着工年度	1967	1967	西暦で入力。(YYYY)
完了年度	1968	1968	西暦で入力。(YYYY)
譲与年月日			西暦で入力(YYYY/MM/DD)
予備項目1	青垣町	青垣町	旧市町名を入力
予備項目2	農道整備事業完了地区台帳	3	1:一定要件農道、2:一定要件以外の農道、3:農道整備事業完了地区台帳、から入力
予備項目3	管理者	青垣町	管理者名を入力

水土里システムでの情報項目名	入力内容	入力例	注意点
局コード	近畿農政局	近畿農政局	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	兵庫県	28(兵庫県)を入力
市町村コード	猪名川町	301	活動区域の存在する市町村コードを入力
農地水環境保全対策コード			
活動組織名	柏原地域資源保全部会	柏原地域資源保全部会	活動組織名を入力
協定締結年月日	2007/4/13	2007/4/13	西暦で入力(YYYY/MM/DD)
協定終了年月日	2012/3/31	2012/3/31	西暦で入力(YYYY/MM/DD)
協定対象資源位置	兵庫県猪名川町柏原	協定対象となる資源の住所	協定対象となる資源の住所を全角50文字以内で入力。
対象農用地面積(田)	2096	2096	共同活動支援交付金の田の算定対象面積。単位:a
対象農用地面積(畑)	105	105	共同活動支援交付金の畑の算定対象面積。単位:a
対象農用地面積(草地)	0	0	共同活動支援交付金の草地の算定対象面積。単位:a
協定農用地面積(田)	2096	2096	対象活動組織が共同活動を実施する田の農用地面積。単位:a
協定農用地面積(畑)	105	105	対象活動組織が共同活動を実施する畑の農用地面積。単位:a
協定農用地面積(草地)	0	0	対象活動組織が共同活動を実施する草地の農用地面積。単位:a
協定対象開水路延長	9.2	9.2	共同活動を実施する開水路の延長。単位:km
協定対象パイプライン延長	0	0	共同活動を実施するパイプラインの延長。単位:km
協定対象ため池箇所数	0	0	共同活動を実施するため池の個数。単位:個
協定対象農道延長	3.2	3.2	共同活動を実施する農道の延長。単位:km
予備項目1	向上活動への取組状況		平成24年度の向上活動への取り組みの有無を記入
予備項目2	取組水路延長		取組施設(水路)の延長。単位:km
予備項目3	取組農道延長		取組施設(農道)の延長。単位:km
予備項目4	取組ため池箇所数		取組施設(ため池)の個数。単位:箇所
予備項目5	取組農地箇所		取組施設(農地)の箇所。単位:箇所
更新年月日			

情報項目	入力内容	入力例	注意点
【ストックマネジメント計画範囲】			
局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード	兵庫県洲本市	205	市町村コードから入力。施設が複数の市町村にまたがる場合は代表的な市町村のコードを入力
計画範囲名称	兵庫2期(鮎屋川)	兵庫2期(鮎屋川)	計画範囲の名称を入力する(例:〇〇幹線水路、△△頭首工)
事業区分			ストックマネジメントを実施する事業名を入力
地区名			ストックマネジメントを実施する事業地区名を入力する。(例:〇〇地区)
事業主体コード			関係者コードから入力
対象施設名	幹線水路	幹線水路	ストックマネジメント計画の施設名を入力する。
施設延長	4,131.5m	4131.5	計画対象が水路の場合に総延長を入力する。単位:m 少数1位数値
調査部位数	39	39	施設機能診断箇所数を入力する。
施設状態評価結果	S-4	S-4	計画範囲全体の健全度評価結果を健全度コードより入力。001[S-1;重大な変状あり]、002[S-2;顕著な変状あり]、003[S-3;変状あり]、004[S-4;変状兆候]、005[S-5;変状なし]
健全度割合(S-1)	5.1%	5.1	計画範囲内における健全度評価がS-1の施設の割合を入力。単位:% 少数1位数値
健全度割合(S-2)	15.4%	15.4	計画範囲内における健全度評価がS-2の施設の割合を入力。単位:% 少数1位数値
健全度割合(S-3)	7.7%	7.7	計画範囲内における健全度評価がS-3の施設の割合を入力。単位:% 少数1位数値
健全度割合(S-4)	64.1%	64.1	計画範囲内における健全度評価がS-4の施設の割合を入力。単位:% 少数1位数値
健全度割合(S-5)	7.7%	7.7	計画範囲内における健全度評価がS-5の施設の割合を入力。単位:% 少数1位数値
健全度別延長(S-1)	15m	15	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-1の施設の延長を入力。単位:m 少数1位数値
健全度別延長(S-2)	0m	0	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-2の施設の延長を入力。単位:m 少数1位数値
健全度別延長(S-3)	15m	15	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-3の施設の延長を入力。単位:m 少数1位数値
健全度別延長(S-4)	3656.5m	3656.5	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-4の施設の延長を入力。単位:m 少数1位数値
健全度別延長(S-5)	445m	445	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-5の施設の延長を入力。単位:m 少数1位数値
健全度別部位数(S-1)	2	2	健全度評価がS-1の部位数を入力
健全度別部位数(S-2)	6	6	健全度評価がS-2の部位数を入力
健全度別部位数(S-3)	3	3	健全度評価がS-3の部位数を入力
健全度別部位数(S-4)	25	25	健全度評価がS-4の部位数を入力
健全度別部位数(S-5)	3	3	健全度評価がS-5の部位数を入力
予備項目1	県営かんがい排水・開拓パイロット・防災ダム事業	県営かんがい排水・開拓パイロット・防災ダム事業	対象施設の造成事業名を入力 全角25文字以内
予備項目2	1970年	1970	対象施設の造成年度を西暦で入力(YYYY)
予備項目3	現場打ちコンクリート水路、L型コンクリート水路	現場打ち無筋コンクリート開水路	対象施設の構造を入力 全角25文字以内
予備項目4			対象施設の規模、規格を入力 全角25文字以内
予備項目5	兵庫県鮎屋川土地改良区	兵庫県鮎屋川土地改良区	対象施設の管理者を入力 全角25文字以内
【施設診断】			
局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード	兵庫県洲本市	205	市町村コードから入力。施設が複数の市町村にまたがる場合は代表的な市町村のコードを入力
施設区分コード	開水路	005	ストマネ施設区分コードより入力
調査部位	東幹線水路(1号開水路)	東幹線水路(1号開水路)	施設監視を行う部位を入力(例:堰柱P1、〇〇水路111バレル)
調査始点			水路の場合に始点の測点を入力(No.〇+〇〇.〇〇)
調査終点			水路の場合に終点の測点を入力
調査延長	535m	535	単位:m
変状の状況(ひび割れ)	該当あり	002	001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(材料劣化)	該当あり	002	001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(圧縮強度)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(中性化深さ)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(変形・歪み)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(欠損・損傷)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(不同沈下)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(地盤変形)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(目地の変状)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(漏水量)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(管内粗度)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(内面腐蝕)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(発錆状況)	該当あり	002	001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(たわみ・蛇行・沈下)			001:該当無し、002:該当あり を入力

情報項目	入力内容	入力例	注意点
変状の状況特記事項			変状に関する特記事項を入力
劣化要因(初期欠陥)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(中性化)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(アルカリ骨材反応)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(凍害)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(化学的腐食)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(疲労)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(摩耗・風化)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(構造外力)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(近接施工)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(支持力不足)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(過剰水圧)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(ミクロセル腐食)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(C/Sマクロセル腐食)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(電食)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(腐食性土)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(水質)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(その他)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因特記事項			支配的な劣化等要因・機構を入力 全角100文字以内
施設状態評価結果	S-4	S-4	機能診断結果を健全度コードより入力。001[S-1; 重大な変状あり]、002[S-2; 顕著な変状あり]、003[S-3; 変状あり]、004[S-4; 変状兆候]、005[S-5; 変状なし]
機能診断グループ	3	3	施設の構造、形式、健全度等を基本に施設のグルーピングを行った場合にグループ番号を入力する。
劣化の見込み(S-4)			対策を行わない場合に健全度がS-4に低下するまでの年数を入力する。(健全度がS-4～S-1の場合入力しない)
劣化の見込み(S-3)	20	20	対策を行わない場合に健全度がS-3に低下するまでの年数を入力する。(健全度がS-3～S-1の場合入力しない)
劣化の見込み(S-2)			対策を行わない場合に健全度がS-2に低下するまでの年数を入力する。(健全度がS-2～S-1の場合入力しない)
劣化の見込み(S-1)			対策を行わない場合に健全度がS-1に低下するまでの年数を入力する。(健全度がS-1の場合入力しない)
次回診断年	2026年	2026	次回機能診断実施年を西暦で入力する。 YYYY
予備項目9			診断年月日を。()で調査年月日を入力
予備項目10			診断機関を入力。()で調査機関を入力

ストックマネジメント【工事・属性情報変更】 工事箇所ごとに記入。この箇所が監視ポイント。

黒字は機能保全計画から入力(計画作成時点で入力済み)

赤字が補修、改修した内容

H25.1.7

水土里システムでの情報項目名	入力内容	入力例	注意点
【ストックマネジメント計画範囲】			
局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード	兵庫県加古川市	210	市町村コードから入力。施設が複数の市町村にまたがる場合は代表的な市町村のコードを入力
計画範囲名称	加古川市	加古川市	計画範囲の名称を入力する(例:○○幹線水路、△△頭首工)
事業区分	基幹水利施設ストックマネジメント事業	基幹水利施設ストックマネジメント事業	ストックマネジメントを実施する事業名を入力
地区名	加古川市	加古川市	ストックマネジメントを実施する事業地区名を入力する。(例:○○地区)
事業主体コード	県(農)	004	関係者コードから入力
対象施設名	新井水路	新井水路	ストックマネジメント計画の施設名を入力する。
施設延長	8,480m	8480	計画対象が水路の場合に総延長を入力する。単位:m
調査部位数	8	8	計画対象が頭首工、機場等の場合に部位数を入力する。
施設状態評価結果	S-3	S-3	計画範囲全体の健全度評価結果を健全度コードより入力。001[S-1;重大な変状あり]、002[S-2;顕著な変状あり]、003[S-3;変状あり]、004[S-4;変状兆候]、005[S-5;変状なし]
健全度割合(S-1)	0%	0	計画範囲内における健全度評価がS-1の施設の割合を入力。単位:%
健全度割合(S-2)	25%	25	計画範囲内における健全度評価がS-2の施設の割合を入力。単位:%
健全度割合(S-3)	50%	50	計画範囲内における健全度評価がS-3の施設の割合を入力。単位:%
健全度割合(S-4)	25%	25	計画範囲内における健全度評価がS-4の施設の割合を入力。単位:%
健全度割合(S-5)	0%	0	計画範囲内における健全度評価がS-5の施設の割合を入力。単位:%
健全度別延長(S-1)	0m	0	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-1の施設の延長を入力。単位:m
健全度別延長(S-2)	2,060m	2060	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-2の施設の延長を入力。単位:m
健全度別延長(S-3)	4,160m	4160	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-3の施設の延長を入力。単位:m
健全度別延長(S-4)	2,260m	2260	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-4の施設の延長を入力。単位:m
健全度別延長(S-5)	0m	0	計画対象が水路の場合に健全度評価がS-5の施設の延長を入力。単位:m
健全度別部位数(S-1)	0	0	計画対象が頭首工、機場等の場合に健全度評価がS-1の部位数を入力
健全度別部位数(S-2)	2	2	計画対象が頭首工、機場等の場合に健全度評価がS-2の部位数を入力
健全度別部位数(S-3)	0	0	計画対象が頭首工、機場等の場合に健全度評価がS-3の部位数を入力
健全度別部位数(S-4)	2	2	計画対象が頭首工、機場等の場合に健全度評価がS-4の部位数を入力
健全度別部位数(S-5)	0	0	計画対象が頭首工、機場等の場合に健全度評価がS-5の部位数を入力
予備項目1	県営新井農業水利改良事業	県営新井農業水利改良事業	対象施設の造成事業名を入力 全角25文字以内
予備項目2	1954年	1954	対象施設の造成年度を西暦で入力(YYYY)
予備項目3	現場打ち無筋コンクリート開水路	現場打ち無筋コンクリート開水路	対象施設の構造を入力 全角25文字以内
予備項目4	L=11,210m H=1.0*B=3.0	L=11,210m H=1.0*B=3.0	対象施設の規模、規格を入力 全角25文字以内
予備項目5	新井水利組合	新井水利組合	対象施設の管理者を入力 全角25文字以内

【施設監視】(基礎的情報)

局コード	近畿農政局	06	06(近畿農政局)を入力
都道府県コード	兵庫県	28	28(兵庫県)を入力
市区町村コード	兵庫県加古川市	210	市町村コードから入力。施設が複数の市町村にまたがる場合は代表的な市町村のコードを入力
施設区分コード	開水路	005	ストマネ施設区分コードより入力
調査部位	1工区	1工区	施設監視を行う部位を入力(例:堰柱P1、○○水路111/バレル)
定点調査地点番号			調査主体が管理する定点調査番号を入力
定点調査始点	No.0	No.0	水路の場合に始点の測点を入力(No.○+○○.○○)
定点調査終点	No.1+0.26	No.1+0.26	水路の場合に終点の測点を入力
調査延長	1260m	1260	調査延長を入力。単位:m
予備項目1			線施設で老朽化が激しい地点を入力する。(No.○○+○○)
予備項目2			線施設で老朽化が激しい地点を入力する。(No.○○+○○)
予備項目3			線施設で老朽化が激しい地点を入力する。(No.○○+○○)
予備項目4			線施設で老朽化が激しい地点を入力する。(No.○○+○○)
予備項目5			線施設で老朽化が激しい地点を入力する。(No.○○+○○)
予備項目6			調査年月日を入力する。()で調査機関を入力する。
予備項目7			調査年月日を入力する。()で調査機関を入力する。
予備項目8			調査年月日を入力する。()で調査機関を入力する。
予備項目9			調査年月日を入力する。()で調査機関を入力する。
予備項目10			調査年月日を入力する。()で調査機関を入力する。

【sub施設監視】

水土里システムでの情報項目名	入力内容	入力例	注意点
連番(施設監視)	2	2	同一地点において複数回調査を実施する場合の連番を入力する。連番(施設監視)は1から順に付与し入力【機能保全計画作成時点が「1」、2から順に入力】
調査実施者	〇〇〇〇	〇〇〇〇	調査実施者を入力
調査年月日	〇〇〇〇	〇〇〇〇	西暦で入力。YYYY/MM/DD
変状の状況(ひび割れ)			最大ひび割れ幅を入力。単位:mm
変状の状況(材料劣化)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(圧縮強度)			圧縮強度の平均値を入力。単位:N/mm ²
変状の状況(中性化深さ)			中性化深さの平均値を入力。単位:mm
変状の状況(変形・歪み)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(欠損・損傷)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(不同沈下)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(地盤変形)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(目地の変状)			001:該当無し、002:該当あり を入力
変状の状況(漏水量)			漏水量を入力。単位:L/日・cm・km
変状の状況(管内粗度)			管内粗度の変化率(調査C/設計C×100)を入力。単位:%
変状の状況(内面腐蝕)			内面塗装の腐食率を入力。単位:%
変状の状況(発錆状況)			断面内の錆の発生率を入力。単位:%
変状の状況(たわみ・蛇行・沈下)			たわみ・蛇行・沈下による変動量を入力。単位:mm
変状の状況特記事項			変状に関する特記事項を入力
対策の必要性	改修により対策の必要なし	004	対策の必要性コードより入力。000:不明、001:補修対策が必要、002:詳細調査が必要、003:緊急の対策・調査は必要ない、004:対策の必要なし
劣化要因(初期欠陥)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(中性化)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(アルカリ骨材反応)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(凍害)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(化学的腐食)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(疲労)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(摩耗・風化)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(構造外力)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(近接施工)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(支持力不足)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(過剰水圧)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(ミクロセル腐食)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(C/Sマクロセル腐食)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(電食)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(腐食性土)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(水質)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因(その他)			001:該当無し、002:該当あり を入力
劣化要因特記事項			劣化要因に関する特記事項を入力する
劣化過程コード			調査の結果想定される劣化過程を劣化過程コードより入力。000:不明、001:潜伏期、002:進展期、003:加速期、004:劣化期、005:劣化なし
施設状態評価結果	S-5	S-5	機能診断にもとづく施設の総合状態評価結果を健全度コードより入力。001[S-1; 重大な変状あり]、002[S-2; 顕著な変状あり]、003[S-3; 変状あり]、004[S-4; 変状兆候]、005[S-5; 変状なし]
予備項目1	H21水路改修(1工区・その2 L=674m)	H21水路改修(1工区・その2 L=674m)	調査において特別に記載すべきことを記入する。 全角25文字以内
予備項目2			調査において特別に記載すべきことを記入する。 全角25文字以内
予備項目3			調査において特別に記載すべきことを記入する。 全角25文字以内
予備項目4			調査において特別に記載すべきことを記入する。 全角25文字以内
予備項目5			調査において特別に記載すべきことを記入する。 全角25文字以内

地すべり防止(ポリゴン2) 地すべり防止区域

H25.1.7

情報項目	入力内容	入力例	注意点
区域コード	地すべり防止区域名	口大谷	地すべり防止区域名をコードから入力
市区町コード	防止区域の市区町名	兵庫県美方郡新温泉町	市区町をコードから入力
指定年度コード	最初に指定を受けた年度	平成9年度	指定年度をコードから入力
事業区分コード	防止施設を実施した事業名		事業区分をコードから入力
名称区分コード	防止施設等の名称	地すべり区域又は地すべりブロック	名称区分をコードから入力
指定年月日及び番号	最初に指定を受けた	H9.10.29 農林水産省告示第1634号	
指定年月日及び番号2	追加指定を受けた	H17.3.16 農林水産省告示第509号	
指定年月日及び番号3	追加指定を受けた		
指定年月日及び番号4	追加指定を受けた		
指定年月日及び番号5	追加指定を受けた		
指定年月日及び番号6	追加指定を受けた		
指定年月日及び番号7	追加指定を受けた		
地すべりブロック名称		A-1ブロック	地すべり防止区域台帳の整理番号+位置番号+名称番号《別紙参照》
概成年度	概成に入った年度		最新までの当該区域が概成に入った年度を記載
点検履歴(実施年月日)	点検の実施		
現状	点検の結果		
施工期間	工事の着手から完了	H5 H14~H22	着手年度から完了年度を記載
水田面積(ha)	防止区域の水田面積		小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。
畑面積(ha)	防止区域の畑面積		小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。
林地面積(ha)	防止区域の林地面積		小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。
耕地・林地以外の面積(ha)	防止区域の上記以外面積		小数第2位まで記入する。第4位を四捨五入する。
人家(戸)	防止区域の人家の戸数		小数第2位まで記入する。第5位を四捨五入する。
道路・鉄道等公共施設(m)	防止区域の道路等の延長		小数第2位まで記入する。第6位を四捨五入する。
官公署・学校・病院等建物(戸)	防止区域の官公署等の戸数		小数第2位まで記入する。第7位を四捨五入する。
その他の面積(ha)	防止区域のその他面積		小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。
地すべり防止面積(ha)	上記面積の合計	25.22	小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。
(変更)水田面積(ha)	最新の追加指定	8.40	小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。
(変更)畑面積(ha)	最新の追加指定	5.84	小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。
(変更)林地面積(ha)	最新の追加指定	11.39	小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。
(変更)耕地・林地以外の面積(ha)	最新の追加指定		小数第2位まで記入する。第4位を四捨五入する。
(変更)人家(戸)	最新の追加指定		小数第2位まで記入する。第5位を四捨五入する。
(変更)道路・鉄道等公共施設(m)	最新の追加指定		小数第2位まで記入する。第6位を四捨五入する。
(変更)官公署・学校・病院等建物(戸)	最新の追加指定		小数第2位まで記入する。第7位を四捨五入する。
(変更)その他の面積(ha)	最新の追加指定	1.43	小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。
(変更)地すべり防止面積(ha)	最新の追加指定	27.06	小数第2位まで記入する。第3位を四捨五入する。

地すべり防止(ポリゴン2) 水抜きボーリング工、集水ボーリング工、法面安定工(アンカー工含む)
押え盛土工、排土工、浸透防止工

H25.1.7

情報項目	入力内容	入力例	注意点
区域コード	地すべり防止区域名	口大谷	地すべり防止区域名をコードから入力
市区町コード	防止区域の市区町名	兵庫県美方郡新温泉町	市区町をコードから入力
指定年度コード	最初に指定を受けた年度	平成9年度	指定年度をコードから入力
事業区分コード	防止施設を実施した事業名	地すべり対策事業	事業区分をコードから入力
名称区分コード	防止施設等の名称	集水井戸工	名称区分をコードから入力
点検履歴(実施年月日)	点検の実施		
現状	点検の結果		
構造(種別)	台帳の構造欄、摘要欄参照	〇号集水井集水ボーリング	
規格1	VP管等	集水管VP	
規格2	2種類以上の時	排水路U-240	
規格3	3種類以上の時		
工事名	発注工事の名称	地下水排除工事	
数量(単位も入力)	路線(箇所)毎の数量	8本	各路線(箇所)の施工本数等
長さ(高さ)(m)	1本当たりの長さ等	45.0	各路線(箇所)の1本毎の長さ等
竣工年月日	工事の完了年月日	H15年度	
台帳番号+位置番号+名称番号		501301	地すべり防止区域台帳の整理番号+位置番号+名称番号
事業費	当該建設費	5,000	
施工業者	工事の施工業者名	(株)Aコンサルタント	
文字列属性24	付帯工1	土留壁H=1.5m L=6.0m	構造、施工延長等
文字列属性25	付帯工2		構造、施工延長等
文字列属性26	付帯工3		構造、施工延長等
文字列属性27	付帯工4		構造、施工延長等

情報項目	入力内容	入力例	注意点
口径(mm)	使用した製品の口径	40	
部材厚さ(mm)	製品の部材厚さ		
総延長(m)	数量×長さ等	360.00	
面積(m ²)	施工面積		法面安定工、押え盛土工、排土工、浸透防止工の施工面積
体積(m ³)	施工量		押え盛土工、排土工、浸透防止工の施工量
耐用年数	補助金適正化法の	30	

情報項目	入力内容	入力例	注意点
区域コード	地すべり防止区域名	口大谷	地すべり防止区域名をコードから入力
市区町コード	防止区域の市区町名	兵庫県美方郡新温泉町	市区町をコードから入力
指定年度コード	最初に指定を受けた年度	平成9年度	指定年度をコードから入力
事業区分コード	防止施設を実施した事業名	地すべり対策事業	事業区分をコードから入力
名称区分コード	防止施設等の名称	杭打ち	名称区分をコードから入力
構造(種別)	鋼管杭等	鋼管+H鋼合成杭	
規格1	STK400等	STK400	
規格2	2種類以上の時	STK400 H200×200×12×9	合成杭の時は、H鋼の形式又は2重管の時は内側の鋼管の型式を入力
規格3	3種類以上の時		
竣工年月日	工事の完了年月日	S51.3.31	
台帳番号+位置番号+名称番号		501803	地すべり防止区域台帳の整理番号+位置番号+名称番号
点検履歴(実施年月日)	点検履歴(実施年月日)	点検の実施	
現状	現状	点検の結果	
工事名	発注工事の名称	地下水排除工事	
数量(単位も入力)	路線(箇所)毎の数量	20本	
長さ(高さ)(m)	1本当たりの長さ等	10.5~15.0	擁壁の時は、直高(H)を記載
杭の打設間隔(m)	路線(箇所)毎の施工間隔	@2.75	杭打ち工等の打設間隔
事業費	当該建設費		
施工業者	工事の施工業者名	(株)Aコンサルタント	
文字列属性15	特記事項等		
文字列属性16	特記事項等		
文字列属性17	特記事項等		
文字列属性18	特記事項等		
口径(mm)	使用した製品の口径	406.4	
部材厚さ(mm)	製品の部材厚さ	12.7	
延長(m)	施工延長	52.25	杭等の施行長((本数-1)×杭間隔)
総延長(m)	数量×長さ等	260.00	杭等の総長(本数×長さ)
起点のX座標	杭の中心、壁の起点座標	-125234.837	構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
起点のY座標	杭の中心、壁の起点座標	75048.495	構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
中間点1のX座標	屈曲部の中心座標		構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
中間点1のY座標	屈曲部の中心座標		構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
中間点2のX座標	屈曲部の中心座標		構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
中間点2のY座標	屈曲部の中心座標		構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
中間点nのX座標	屈曲部の中心座標		構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
中間点nのY座標	屈曲部の中心座標		構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
終点のX座標	杭の中心、壁の終点座標	-125030.079	構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
終点のY座標	杭の中心、壁の終点座標	74769.697	構造物等の中心の世界測地系座標値を入力
耐用年数	補助金適正化法の	30	補助金適正化法の耐用年数

地すべり防止(ポイント3) 調査ボーリング

H25.1.7

情報項目	入力内容	入力例	注意点
区域コード	地すべり防止区域名	口大谷	地すべり防止区域名をコードから入力
市区町コード	防止区域の市区町名	兵庫県美方郡新温泉町	市区町をコードから入力
指定年度コード	最初に指定を受けた年度	平成9年度	指定年度をコードから入力
事業区分コード	防止施設を実施した事業名	地すべり対策事業	事業区分をコードから入力
名称区分コード	防止施設等の名称	調査ボーリング工	名称区分をコードから入力
ボーリング番号	調査ボーリング名称	ボーリングNo.1	ボーリング孔ごとに整理する
工事(調査)名	発注調査の名称	全体実施設計業務	
調査開始年月日	当該調査の着手年月日	H13	
調査終了年月日	当該調査の完了年月日	H14.3.31	
事業(調査)費	当該調査費	15,000	
施工(調査)業者	調査の実施業者名	(株)Aコンサルタント	
口径(mm)	ボーリング孔の口径	φ66	半角数値
総延(掘進)長(m)	掘進長	10.00	半角数値
X座標	孔の中心座標	-125234.837	調査ボーリング孔の中心の世界測地系座標値を入力 半角数値
Y座標	孔の中心座標	75048.495	調査ボーリング孔の中心の世界測地系座標値を入力 半角数値

地すべり防止(ポイント3) 標柱、地すべり防止区域表示看板、集水井戸工、アンカー工など

情報項目	入力内容	入力例	注意点
区域コード	地すべり防止区域名	口大谷	地すべり防止区域名をコードから入力
市区町コード	防止区域の市区町名	兵庫県美方郡新温泉町	市区町をコードから入力
指定年度コード	最初に指定を受けた年度	平成9年度	指定年度をコードから入力
事業区分コード	防止施設を実施した事業名	地すべり対策事業	事業区分をコードから入力
名称区分コード	防止施設等の名称	集水井戸工	名称区分をコードから入力
標柱名称	標柱番号	標柱1号	標柱番号ごとに整理する。
構造(種別)	鋼管杭等	集水井1号	
規格1	STK400等	ライナープレート	
規格2	2種類以上の時		
規格3	3種類以上の時		
竣工年月日	工事の完了年月日	H18.3.24	
台帳番号+位置番号+名称番号		501801	地すべり防止区域台帳の整理番号+位置番号+名称番号
点検履歴(実施年月日)	点検の実施		
現状	点検の結果		
所在地	番地まで記載	美方郡新温泉町口大谷字大沢1374番地	標柱が存在する住所番地番を記載
工事(調査)名	発注工事の名称	地下水排除工事	
数量(単位も入力)	路線(箇所)毎の数量	1基	
長さ(高さ)(m)	1本当たりの長さ等	20.50	
事業(調査)費	当該建設費	30,000	
施工(調査)業者	工事の施工業者名	(株)Aコンサルタント	
口径(mm)	使用した製品の口径	φ3500	半角数値
部材厚さ(mm)	製品の部材厚さ	t=2.7	半角数値
延長(m)	施工延長		半角数値
総延(掘進)長(m)	数量×長さ等	20.50	半角数値
X座標	孔等の中心座標	-125234.837	構造物等の中心の世界測地系座標を入力 半角数値
Y座標	孔等の中心座標	75048.495	構造物等の中心の世界測地系座標を入力 半角数値
耐用年数	補助金適正化法の	30	半角数値